

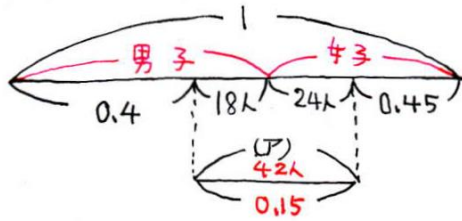
相当算-1

ある小学校では、男子児童の人数は全体の40%より18人多く、女子児童の人数は全体の45%より24人多い。この小学校の男子児童は何人いますか。

全体の児童数を1とします。

男子は40%より18人多い → $0.4 + 18人$

女子は45%より24人多い → $0.45 + 24人$



(P)の人数は $18 + 24 = 42(人)$

(P)の割合(長±)は $1 - (0.4 + 0.45) = 0.15$

0.15 が 42人にあたります。

1 は $42 \div 0.15 = 280(人)$... 全体の人数

男子は $0.4 + 18人$ であるから

$$280 \times 0.4 + 18 = 112 + 18$$

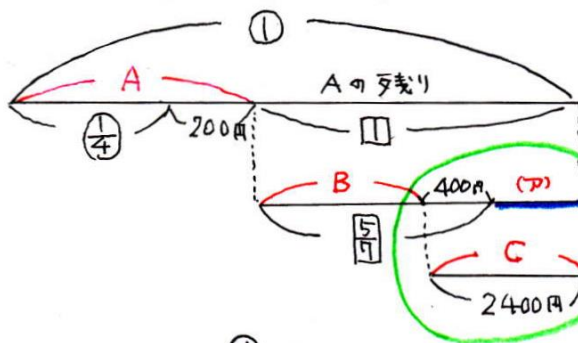
$$= 130(人) \dots \text{男子}$$

130人

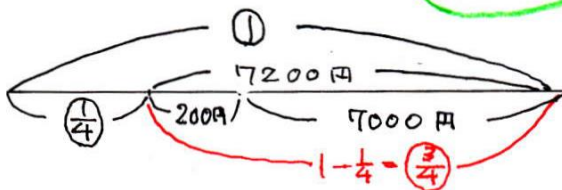
必修例題2

何円かのお金をA, B, Cの3人で分けます。はじめに、Aが全体の $\frac{1}{4}$ よりも200円多くもらい、次に、Bがその残りの $\frac{5}{7}$ よりも400円少なくもらい、さらにCが残りの2400円をもらいました。はじめにあったお金は全部で何円ですか。

はじめにあったお金を①とし、Aがとった残りを□とします。



まあ"ココからスタート."
 (P)の割合(長±) ... $1 - \frac{5}{7} = \frac{2}{7}$
 (P)の金額 ... $2400 - 400 = 2000円$
 $\frac{2}{7}$ が 2000円にあたる。
 ↓
 □ は $2000 \div \frac{2}{7} = 7000(円)$



左図より $\frac{3}{4}$ が 7200円にあたる。
 ↓
 ① = $7200 \div \frac{3}{4} = 9600(円)$

9600円